

平成 30 年度第 2 回大阪府男女共同参画・青少年センター
指定管理者評価委員会議事概要（公表用）

開催日時：平成 31 年 1 月 15 日 月曜日 午前 10 時 00 分から 11 時 30 分

場所：大阪府立男女共同参画・青少年センター 3 階

出席委員：梶木 典子 神戸女子大学家政学部 教授
永松 久代 大阪商工会議所総務広報部広報企画担当課長
村田 和子 和歌山大学 地域イノベーション機構 地域活性化総合センター教授
養父 知美 弁護士
吉松 宏晃 公認会計士

会議の概要

1 開会

2 議事

(1) 平成 30 年度大阪府男女共同参画・青少年センター指定管理運営業務評価について

(2) その他

3 閉会

主な意見等（○：委員（敬称略）、●：事務局、◎指定管理者）

議事(1)について

●事務局）－「平成 30 年度指定管理運営業務評価票」の構成について説明－

指定管理者入室

◎指定）平成 30 年度自己評価について説明

○委員）先日、私が責任者として編集作業を行っていた書物に必要な資料を探していた際、ドーンセンターの情報ライブラリーで見つけることが出来た。指定管理業務の評価にあたっては、もちろんハード面における予算の問題や、「貸館として、いかに新規利用者を獲得するか、活性化するか」という点も非常に重要であるが、ドーンセンターには大阪府の女性問題に関する情報、資料、運動の集積所としての役割も大きく存在するので、この点についても大事にしていただきたいと思っている。

○委員）大学生の利用状況について教えてほしい。

◎指定）ホールやパフォーマンススペース(以下、PS と表記)において、クラブ活動などの利用等自ら取り組んでいる活動等で利用いただいていることが多い。また 30 歳未満の青少年が自ら施設を利用する際には「青少年利用目的」の減免区分にあたるので半額で利用できるといった案内をするようにしており、継続的に利用いただくことが多いと感じている。大学生や社会人の方には直前割引制度など安価で場所を借りることのできる制度もあるので、会議室等を利用してもらえればと思っている。

○委員）ホール、PS と比較して会議室の利用率が伸び悩んでいるように見えるが、現在の状況を教えてほしい。

- ◎指定) 昨年の同時期の稼働率と比較してホール、PS についてはプラス、会議室についてはマイナス、施設全体としてはプラスとなっている。
- 委員) 直前割引の件数などはどうか。
- ◎指定) 直前割引の件数についてはほぼ横ばいとなっている。
- 委員) 会議室の一覧を掲載してくれるような web サービスへの登録等はしているのか。
- ◎指定) 以前同様のサービスに登録していたことがあったが集客に繋がらなかったため、取りやめたという経緯がある。費用も高むため、費用対効果が見込めなかった。
- 委員) ドーンセンターに対しては男女青少年センターというイメージが強く、貸館事業をしているという認識が府民に対して薄いのではとも思う。そのあたりの調査や広報の強化が必要かもしれない。
- ◎指定) 今後も、効果的な方法を考えていきたい。
- 委員) 青少年の育成や男女共同参画の拠点として、関係 NPO との協働や周辺の学校との連携等と人的なネットワークの構築を促すような役割も求められているように思う。ただこうした取り組みには当人の資源が必要になってくるのでそのマンパワーの振り分けや充当が大変なところだと思うが、現在の状況や課題等を聞かせてほしい。
- ◎指定) センターに求められる役割や課題にも対応していきたいと考えているが、施設そのものを運営していくことにもかなりの人員が要求されるため、なかなかギリギリのところであるというのが現状。
- 委員) 実施している事業について全事業別に詳細にデータを出すことは難しいと思うが、効果・成果検証ができるよう一覧でわかる資料等があれば非常に分かりやすいと思うので検討してほしい。

指定管理者退室

- 事務) -「平成 30 年度指定管理運営業務施設所管課評価」について説明-
- 委員) 自主事業別の報告書などは府へ提出してもらっているか。
- 事務) 事前に承認し、事業終了後には報告書という形で提出してもらい確認するようにしている。
- 委員) 本日、センターに来た際、朝の時間というのものもあるのかもしれないが、ロビーが閑散としている印象を受けた。PS が使用されていない時はシャッターが降りているようだが、寂しい印象を受ける。入り口入ってすぐの印象は大事だと思うのでなにか華やかな印象を与える方法がないか検討しては。
- 委員) センター全体の活性化につなげるために、センターの顔でもある、ロビー空間の利用状況を調査してみても良いのではないか。
- 事務) ロビーの利用者については基本的には、貸館やライブラリーの利用者が主であり、それぞれ利用者アンケートを実施し、現時点での動向等をできる限り分析し、運営に反映しているところでもある。
- 委員) 青少年健全育成支援の場としての役割についてだが、ダンス、音楽などの創作活動の場のニーズは若者に対して非常に高いと思う。1 階ロビーや PS 等、青少年の活動の場として開放するなど、検討してみてもどうか。
- 委員) 青少年にとって演劇やダンスなどといった自分を表現する活動はとても大事。

●事務) 今いただいたご意見については指定管理者に伝達をする。

○委員) それでは議事(1)について以上とし、本日いただいたコメントについて、事務局で整理し、当委員会の指摘・提言とすることについて委員長に一任としてよろしいか。

○委員) 異議なし。

議事(2)について

●事務) -今後のスケジュールについて説明-

次回の評価委員会の公開非公開について

●事務) 次回の評価委員会については、審議内容が、指定管理者の経営状況、独自のノウハウやアイデアなどに言及することが想定され、それらの内容が公開されると、当該指定管理者の競争上の地位、その他正当な利益を害するおそれがあることなど、大阪府情報公開条例第8条第1項の規定による「公開しないことができる」情報に該当する。そのため非公開としたいと考えているが問題ないか。

○委員) 異議なし。

以上。